

平成19年度食品健康影響評価技術研究の研究課題の候補について

I 食品中の化学物質の健康影響評価手法に関する研究領域

研究課題	主任研究者	所属組織
遺伝子多型ラットを用いたペルオキシソーム増殖剤のヒト発がんリスクの評価法の開発	土田成紀	弘前大学
ヒト肝組織を用いたアクリルアミドの変異原性の評価とその関連遺伝子の解析	笹野公伸	東北大学
化学物質による肝肥大誘導機序の解析を基盤とした肝発がんリスク評価系の構築	出川雅邦	静岡県立大学
毒性データの不確実性とヒトへの外挿法に関する研究	長谷川隆一	国立医薬品食品衛生研究所

II 食品に起因する病原微生物等（プリオン、薬剤耐性菌を含む）のリスク評価法に関する研究領域

研究課題	主任研究者	所属組織
予測微生物学的解析手法を用いた微生物学的リスク評価システムの開発	小関成樹	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所
腸管出血性大腸菌の牛肉を介したリスクに及ぼす要因についての解析	工藤由起子	国立医薬品食品衛生研究所
食用動物からヒトに至る薬剤耐性遺伝子の伝播の解明と評価手法の開発	青木宙	東京海洋大学

III 新開発食品の健康影響評価手法に関する研究領域

研究課題	主任研究者	所属組織
遺伝子組換え食品等のアレルギー性・腸管免疫影響のインビトロ評価系の開発	手島 玲子	国立医薬品食品衛生研究所

IV リスクコミュニケーションの推進に関する研究領域

研究課題	主任研究者	所属組織
効果的リスクコミュニケーションのための学際的人材育成システムの構築	小泉 望	奈良先端科学技術大学院大学